

第6号議案

社会資本整備総合交付金事業(街路)
 (都)敷島公園大師線 2期工区 前橋市

着手年度
 評価理由

平成27年度
 10年継続
 事業費の増額

1. 事業の概要

県土整備プランの位置づけ 政策3:多様な移動手段の確保
 施策3:歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

- ・都市計画道路敷島公園大師線は、前橋市街地北西部の主要な幹線道路であり、事業区間は前橋市の国道17号から伊勢崎市の国道50号を結ぶ県道前橋西久保線の一部にもなっている。
- ・事業区間は、周辺の小中学校、高校の通学路となっているが、歩道や自転車通行空間が未整備であり、歩行者・自転車の通行に危険な状態である。
- ・また、前橋行政県税事務所(群馬県地域防災センター)などの防災拠点をつ結ぶ第2次緊急輸送道路に指定されているが、幅員狭小のため、大型車のすれ違いに支障をきたしている。
- ・このため、歩行者・自転車の安全な移動空間を確保するとともに、都市の防災機能の向上を図るものである。



歩道・自転車通行空間未整備状況

事業場所	まえばし あおやぎまち まえばし かみほそいまち 前橋市青柳町～前橋市上細井町	
区分	従前の計画公表値	今回
全体事業費	1,900百万円	4,400百万円
全体事業費増減の理由	-	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化(電線共同溝)追加による増額 ・資材価格や労務単価高騰による増額 ・補償物件の追加等による増額 ・橋梁計画の変更による増額 ・自転車通行空間の構造変更による増額
事業期間	H27～R11	H27～R16
事業内容	道路延長 900m 道路幅員 18.0m	道路延長 1,268m 道路幅員 18.0m

2. 進捗状況

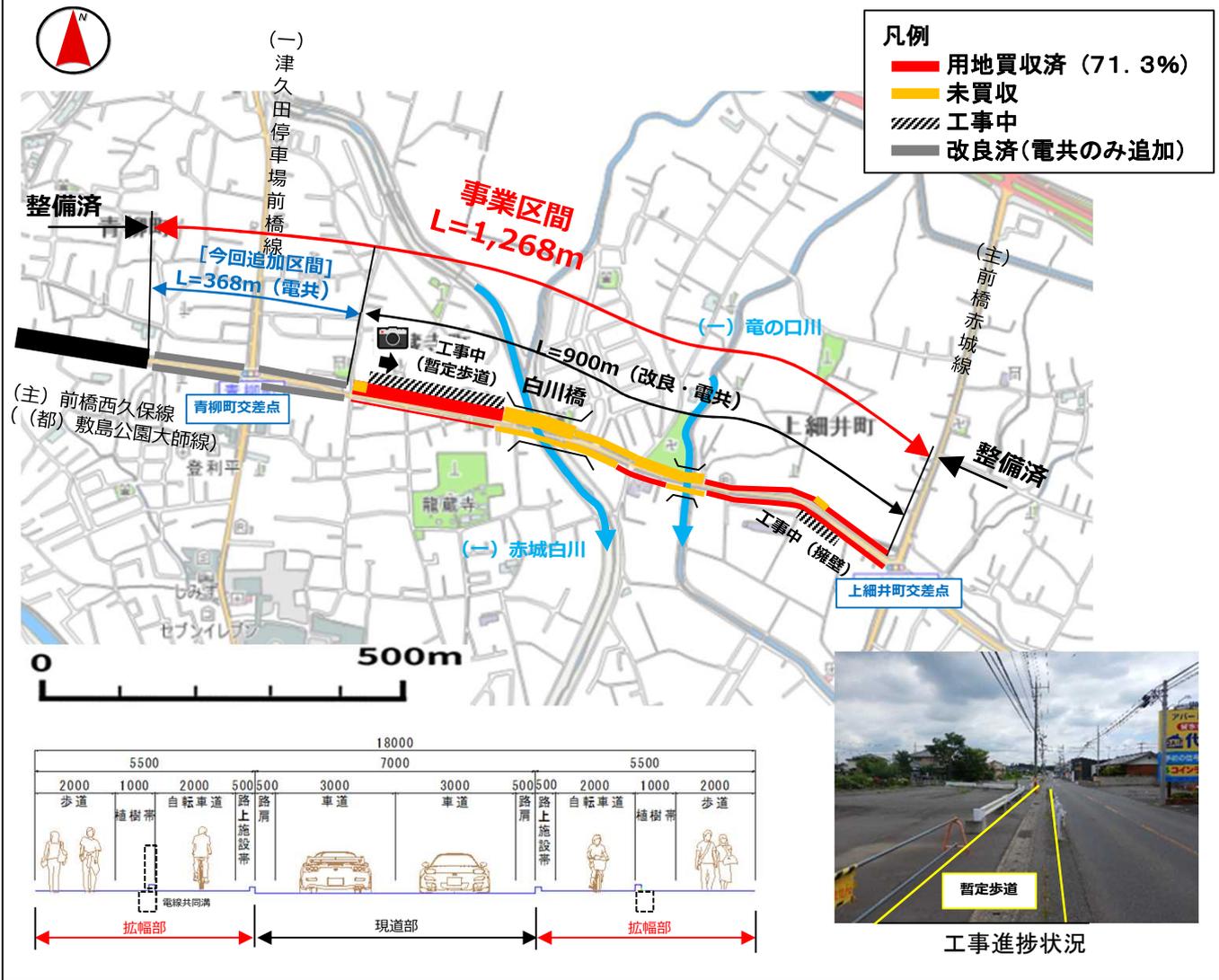
事業経緯

年度	主な経緯
H27	事業着手
H29	用地買収着手
R5	工事着手

進捗状況

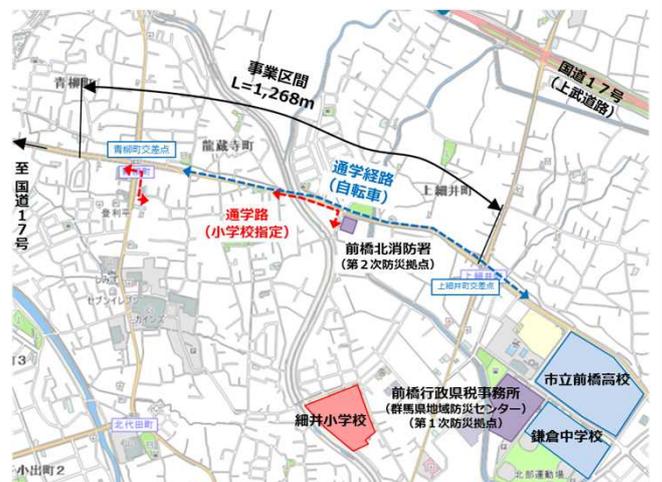
	全体計画	前年度までの進捗状況(進捗率)
事業費	4,400百万円	1,719百万円 (39.1%)
用地買収	5,318m ²	3,793m ² (71.3%)
計画延長	1,268m	0m (0.0%)

2. 進捗状況(図面・写真等)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- 事業区間は、近傍に位置する細井小学校の指定通学路となっているほか、鎌倉中学校、市立前橋高校への主要な通学経路となっているが、歩行者や自転車の通行空間が未整備であり、非常に危険な状態となっている。(事故件数:2件/年平均)
- このため、本事業において、通学児童・生徒をはじめとした歩行者・自転車の安全な移動空間を整備する必要性に変わりはない。
- また、事業区間は群馬県地域防災計画に定める防災拠点の前橋行政県税事務所(群馬県地域防災センターを含む)や前橋北消防署を結ぶ第2次緊急輸送道路に指定されているが、幅員狭小(W=2.5m/車線)で、大型車同士のすれ違いに支障をきたしているほか、整備済区間に挟まれたボトルネック区間となっている。
- このため、本事業での道路拡幅の必要性に変わりはない。



4. どのような事業効果が見込めるか？

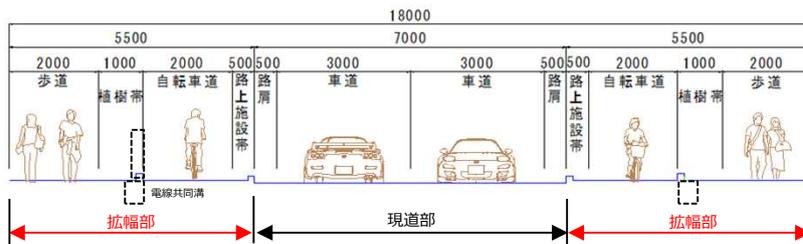
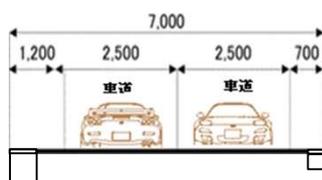
- ・ 細井小学校の指定通学路、鎌倉中学校、市立前橋高校への主要な通学経路であり、群馬県自転車活用推進計画(H31年3月策定)における自転車ネットワーク計画路線に位置付けられている。
- ・ このため、事業区間で、未整備又は幅員狭小となっている歩道を両側に整備するとともに、今回、新たに自転車通行空間として自転車道を整備することで、通学児童、生徒の安全性がより確保され、歩行者・自転車事故発生件数(2件/年平均)の減少が見込める。



整備前



整備後イメージ [伊勢崎(都)上矢島米岡線]



- ・ 大型車同士のすれ違いに支障をきたしている車道の狭小区間(W=2.5m/車線)の拡幅(W=3.0m/車線)や付加車線の整備により、車両事故件数(9件/年平均)の減少が見込める。
- ・ 群馬県地域防災計画に定める防災拠点の前橋行政県税事務所(群馬県地域防災センターを含む)や前橋北消防署を結ぶ第2次緊急輸送道路である事業区間について群馬県無電柱化推進計画2019(H31年3月策定)に基づき、(主)前橋赤城線などの周辺路線と一体的に無電柱化することで、都市の防災機能の向上が図れる。

費用便益分析

	事業全体		残事業	備考
	事前評価時	今回再評価時	今回再評価時	
費用合計(C)	1,607,000千円	3,896,000千円	1,819,000千円	・工事費 ・維持管理費
便益合計(B)	4,340,000千円	4,456,000千円	4,456,000千円	・走行時間の短縮 ・走行経費の減少
費用対効果分析(B/C)	2.70	1.14	2.45	

5. 事業手法やコストは妥当か？

【事業採択時の計画(事業費)を変更する理由】

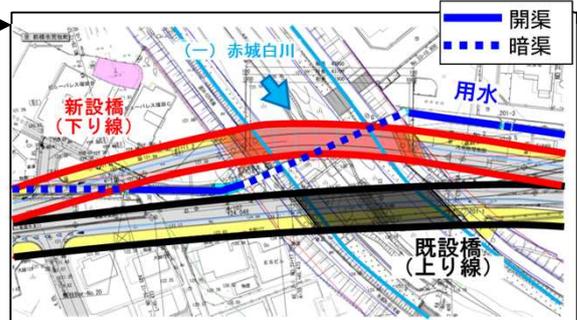
[主な事業費の増額]

1. 無電柱化(電線共同溝)の追加による増額(+9.8億円)

・群馬県無電柱化推進計画(H31年3月策定)に基づき、都市の防災機能の向上、安全・円滑な通行空間の確保を図るため、無電柱化を追加することにより増額となる。

2. 橋梁計画の変更による増額(+2.3億円)

・(一)赤城白川に架かる白川橋について、橋梁工事に伴い赤城白川を下越している支障物件(準用河川名胡用水)が干渉することが判明したため、その影響を回避するよう、新設橋(下り線)の橋梁位置、構造(延長、線形)を見直し、曲線橋に変更したことにより増額となる。



3. 補償物件の追加等による増額(+4.6億円)

・詳細な現地調査等に伴い、補償対象物件追加及び一部物件の移転工法の変更が必要になったことにより増額となる。

4. 自転車通行空間の構造変更による増額(+0.9億円)

・群馬県自転車活用推進計画(H31年3月策定)に基づき、自転車で通学する生徒の安全を確保するため、自転車道の整備を行うことにより増額となる。



5. 資材価格や労務単価高騰による増額(+7.4億円)

・H26年時点からR6年でコンクリート単価が1.4倍、普通作業員単価が1.4倍になるなど、近年の資材・労務単価の高騰の影響を強く受け、工事費が増額となる。

【今回の変更計画の妥当性】

- ・都市の防災機能向上や安全・円滑な通行空間の確保を図るためには、無電柱化は必要であり、道路改良工事と同時施工することで、コストや工期的に優位となることから妥当である。
- ・橋梁計画の変更についても、支障物件(準用河川名胡用水)の移設費用よりも経済性に優れることから、計画変更は妥当と考える。
- ・本路線周辺には、中学や高校があり自転車で通学する生徒が多いことから、通行者の安全性向上のため自転車道の追加は妥当と考える。

【事業費の縮減に向けた取り組み】

- ①低コスト手法による電線共同溝の実施(増額の抑制)
- ②歩車道境界に防草機能を有する製品を採用(維持管理費の縮減)

6. 事業実施にあたり、配慮した事項はあるか？

- ・改良工事実施前においても、用地買収完了箇所を有効活用し、歩行者・自転車の移動空間を暫定的に整備することで、通学する児童・生徒の安全性を高めている。

整備前



暫定整備後



7. 事業が長期間要している理由と今後の見通しは？

- ・白川橋整備に伴う橋梁計画にあたり、近接する支障物件の用水の付け替え検討や、用水管理者及び地元関係者との調整に不測の日数を要したが、支障物件を回避した橋梁計画の方針が決定した。
- ・このため、橋梁計画の変更に伴う、都市計画道路に係る都市計画と事業認可の変更手続きを令和6年度に実施し、その後、橋梁前後区間の用地調査、用地買収、橋梁工事を順次進めるが、約7年間を要する見込みである。
- ・また、橋梁前後区間の改良工事(電線共同溝及び自転車道を含む)については、橋梁工事完了後の工事着手となり、約3年程度を要するため、令和16年度の完成を見込んでいる。
- ・白川橋整備の方針の目処がたったことから、早期の事業効果発現に向けて、車道幅員が狭小のうえ、歩道未設置となっている「青柳町交差点～白川橋」までの一連区間を優先的に整備を進めていく。

8. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・ 本路線は、近傍に位置する小中学校・高校への通学路に位置付けられているが、歩道や自転車通行空間が整備されていない危険な状態である。このため、通学児童・生徒をはじめとした歩行者・自転車の安全な移動空間を整備する必要がある。
- ・ また、本路線は幅員狭小で、大型車同士のすれ違いに支障をきたしている状態であるとともに、防災拠点へのアクセス経路として第2次緊急輸送道路に指定されていることから、道路改良工事と併せて無電柱化することにより、都市の防災機能の向上を図る必要がある。
- ・ 「青柳町交差点～白川橋」までの一連区間を優先的に整備を進める見通しも立っている。
- ・ 以上により、事業の必要性・重要性は高く、また用地買収も7割以上進んでおり、事業継続が妥当である。

9. 市町村意見

市町村	再評価における意見
前橋市	本路線は周辺小中学校及び高校の通学路として安全な移動空間整備が求められている他、防災上においても重要路線に位置付けられていることから早期整備をお願いしたい。事業費については縮減を徹底し、効率的かつ効果的な運用に努めていただきたい。